

自己評価（学校関係者評価）公表シート

令和 6 年度
作成 ふじしろ幼稚園

1,本園の教育目標

園児の主体的な活動としての遊びを十分に確保し、遊びを通して周りの世界に興味を持ち、思考する過程を大切にしたい教育を目指している。又、幼児期にふさわしい生活が展開されるように、保育教諭との信頼関係に支えられた生活を行い、興味や関心に基づいた直接的な体験や、友達と充分にかかわって展開する活動がなされるように配慮した幼児教育を目指している。

2、本年度、重点的に取り組む目標、計画

- 一人ひとりの育ちを全職員で共通理解し、園全体としての問題意識を持つ。
- 保護者とのコミュニケーションを密にし、共に子育てに喜びを持つ。
- 職員の専門性を高め、より広い視野で指導できるよう、研修等で保育教諭の資質を高める。
- 子ども同士の関わりあいを重視し課題に対して実践計画を立て共同的な活動ができるような配慮をする。

3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目

取組み状況

① 預かり保育の充実	通常保育預かり保育を最長 7 時まで、早朝保育にも対応。 長期休業中の預かりを実施、全月の定期購入を実施 利用人数の増加を踏まえ預かり保育室を 3 教室設置
② 特別支援教育	個々の特質を踏まえ、それぞれの発達を理解し、支援に努めた。 家庭と密に連絡連携に努め、職員全体で関わりサポートできる よう情報を共有した。フリー職員と支援専門パート保育教諭を 常時配置。
③ 情報公開	参観を 1 学期・2 学期に実施。各種イベント保護者参加、 連絡アプリ配信システムによる園だより、日頃の園児活動写 真、すぐ記録お知らせ配信
④ 研修	各研修・研究等へ積極的に参加し全教職員との共通理解へとつ なげた
⑤ 環境	インターネットでの預かり保育申込・写真販売等申込導入
⑥ 食育	とうはん弁当給食を預かり保育中の弁当提供の実施。 又自分たちで誕生日のお菓子作りに取り組み食に関しての興 味関心を広げることが出来た。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

取り組むべき課題について、全教職員が共通に理解し、それぞれ自己評価し、取組状況を話し合うことを通して、方針を明確にすることが出来、それを実践することが出来た。

5、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
子育て支援の充実	地域を含む子育て世代の保護者のニーズに対応した子育て支援のあり方を検討していく。子どもの心の育ちに重点を置き、未就園児の保護者にとっての交流の場としての幼稚園の在り方も検討する。
情報公開	ホームページ・連絡アプリを活用し日頃の保育充風景、様子等の配信を充実できるよう、検討していく。
評価	幼稚園の思いと保護者の思いに大きな差異が無いかを確認し、保育内容を検討する。 (年2回父母の会の保護者と座談会を実施)
環境	恵まれた園の環境を活用できるよう、子どもの安全面を考慮して中・長期的な計画を立てる。 長時間保育に対応できる環境について再度検討する。 施設内の空き教室の利用を検討する。 バス置き去り防止装置の設置を実施。

6、学校関係者の評価

今後も先生と子ども達が、子どもの自立を目的とした生活面や健康であるための心と体力の増進など、伸び伸びとふじしろ幼稚園らしい丁寧な指導で子どもの育ちを今後も促してほしい。

特に指摘すべき項目はなく、妥当であると、認められる。

6、財務状況

公認会計士監査により、適当に運営されていると認められている。